

本連盟ホームページからのファイルダウンロードについて

4月23日付で掲題件につきご連絡させていただいたところですが、追加でご説明させていただきます。結論的には本連盟のHPはSSL認証付きサイトではないからであり、下記の「(ファイル名) 安全でないダウンロードがブロックされました」を言い換えると単に「このファイルはより安全性の高いHTTPSサイトではなくHTTPサイトからのものであるので一旦保留にしますよ」ということで「危険なファイルです」と断定しているわけではありません。

1. 簡易的な説明と対処

おそらく、2月から3月にかけてブラウザ（インターネット閲覧ソフト）のGoogle Chrom のセキュリティが強化（バージョンアップv122.0.6261.111/.112かと）されたタイミングで基本設定が変更され、ファイルダウンロードのたびに「(ファイル名) 安全でないダウンロードがブロックされました」の警告文が出、そのままではダウンロードされなくなった。この場合、「安全ではないファイルをダウンロード」を選択すれば従来通りファイルダウンロードが実行されます。警告文が出るだけになっただけとお考え下さい。

（本連盟HP掲載ファイルそのものは、少なくとも掲載前にウイルス等のチェックがかかっており基本的には安全とお考えいただいて結構です）

Microsoft Edge の場合もほぼ同様に、「(ファイル名)を安全にダウンロードすることはできません」の警告メッセージにマウスを移動→「…」(その他のアクション)→「保存」を選択→「保持する」を選択することでファイルダウンロードが可能です。

2. 毎回、ワンアクションが加わるのは面倒（警告文が出るのは煩わしい）と思われ、従来通り直接ダウンロードするようにする設定変更する方法

・ Google Chrome の場合

本連盟サイトを開いている時にアドレスバーの左側の「[!保護されていない通信]」を左クリックし「[サイトの設定]」を選択し表示される画面の「安全でないコンテンツ」を「許可する」に変更する。以後、本連盟サイト内のファイルのダウンロード時には「(ファイル名) 安全でないダウンロードがブロックされました」の警告文がでず、すぐさまダウンロードされるように（従前の設定状態に）なります。

・ Microsoft Edge の場合

本連盟サイト開き、アドレスバーの左側の [!セキュリティ保護なし] を左クリックし [このサイトに対する権限] を選択し表示される画面の「セキュリティで保護されていないコンテンツ」を「許可」に変更する。

この他、Safari などでもほぼ同様な設定変更で対処可能で、各ブラウザの基本設定からも設定変更アクセス可能（少し煩雑）です。

3. やや詳しい説明（よくご存じの方には不要。 なぜ?と思われた方へ）

ホームページを閲覧する通信方式として HTTP という世界共通方式（プロトコール）が使われてきました（HP のフルアドレスの頭に http:// ~ がついています）。近年この通信に暗号化を取り入れより高度なセキュリティを持たせた通信方式に移行しつつあるのが現状です（SSL サーバー認証・暗号化方式）（SSL 認証の HP のフルアドレスの頭は https:// ~ がついています）。このような状況下、各ブラウザも SSL (Secure Sockets Layer)、TLS 通信を推奨するようになってきているのが現状で、本連盟の HP のような（現状 SAJ の HP もですが）非 SSL サイト（HTTP サイト）にアクセスするとアドレスバーの冒頭に自動的に警告が付いたり、今回の様にファイルダウンロードのたびに一旦警告文を出しブロックをかける仕様をデフォルトにするようになってきています。

もちろん SSL サイト（HTTPS）サイトの方が HTTP サイトより高セキュリティではありますが、非 SSL サイトの SSL 化には相応の初期費用と運営費増加を伴いますし、その対応については今後の動向を見て考えていくべきと思います。

(理事長)